

# 令和6年度決算を審査



実質収支は約9億円、実質単年度収支は約2億円の黒字となり、財政状況はおおむね健全な状況にあります。ただし、市役所新庁舎やごみ処理施設の建設に伴って市債の発行(市の借金)が増えるため、令和12年度には、市の借金の割合を示す「将来負担比率」が70%まで上がり、**将来の負担が大きくなる見通し**です。そのため、これからは支出の見直しや新しい財源の確保を進めながら、**計画的で慎重な財政運営が必要**となります。

そして何より、市の財政は私たち市民の生活に直結しています。今後の市の取組について、私たちと一緒にしっかりチェックしていきましょう。

## 「誰一人取り残さない明石」を象徴する 「こども夢応援プロジェクト」補正予算が可決

### 当初予算では200人⇒150人まで削減

「誰一人取り残さない」「こどもを核としたまちづくり」を掲げてきた本市の姿勢が変わってしまったのかと3月議会で討論に立ちました。そこで訴えたのは、夏の応募状況を見て「必要なら補正予算を組んでもらいたい! こどもたちが夢をあきらめずに済むようにしてもらいたい!」という想い。

### 今夏269人の応募あり

- 支援がないと教育の機会に恵まれない状況のこどもたちがいる。ニーズも減っていない。
- 昨年度と同じ200人の補正予算を!

と9月議会で一般質問しました。  
その結果、会期中に補正予算議案が提出され、**全会一致で可決**。

昨年同様のサポートが行われることが決まりました。

今後も、こどもたちを本気で応援するまちであり続けられるよう、しっかり働きかけてまいります。

## 常任委員会で行政視察へ

### ◎総務常任委員会 8/6～8/8

- 公共施設マネジメントについて（愛知県高浜市）
- スマートインターチェンジについて（愛知県豊田市）
- 災害時におけるペットとの避難について（愛知県小牧市）



### ◎建設企業常任委員会 8/4～8/6

- 自転車を活用したサイクルツーリズムとインバウンドについて（大分県中津市）
- 海岸公園におけるバスケットボールパークについて（大分県別府市）
- 小規模公園の機能再編・利活用について（熊本県熊本市）



### ◎生活文化常任委員会 8/4～8/6

- 自治会SNS「いちのいち」の活用、自治会加入促進の取組について（神奈川県秦野市）
- 地方卸売市場の民営化について（神奈川県藤沢市）
- ごみ減量の取組、ゼロ・カーボンの取組について（神奈川県相模原市）

明石市議会

# 市民の会だより

秋号  
令和7年

発行 明石市議会 市民の会 〒673-8686 兵庫県明石市中崎 1丁目 5番 1号 明石市議会「市民の会」控室  
Mail shiminakashi@gmail.com

※この市政だよりは、明石市議会「市民の会」政務活動費によって発行されています

## 新しい仲間を迎えて、さらに前へ

このたび『市民の会』は、令和7年5月より 上田雅彦議員 を新たな仲間として迎えることとなりました。今後は、6名体制の議員団として、力を合わせてより一層明るい明石の未来づくりに取り組んでまいります。

なお9月議会では、議案全20件を審査。特に**令和6年度決算や「こども夢応援プロジェクト」補正予算案**が主なテーマに。このほか、市政に関する一般質問を全員がおこないました。



中山 裕司 黒田 智子 上田 雅彦 金尾 良信 中川 夏望 山下 祥  
やまなか ゆうじ くろだともこ うえだまさひこ かなおよしのぶ なかがわなつみ やましたしよう  
建設企業常任委員会所属 総務常任委員会所属 総務常任委員会所属 生活文化常任委員会所属 文教厚生常任委員会所属 建設企業常任委員会所属（委員長）

## 市政報告会のお知らせ

お買い物やお出かけのついでに  
お気軽にご参加下さい！

入退場自由  
参加無料  
飲食OK!

報告会では、それぞれの一般質問と市からの回答について深堀りします

11月15日 土 18時～20時

パピオスあかし2階 あかし市民広場

JR明石駅南口すぐ(明石市大明石町1丁目6-1)

※子育てやお仕事が忙しい方のために、  
Xでオンライン配信もいたします。

市民の会のXはこちら→



2024年4月の  
あかし市民広場 市政報告会の様子

# 9月本会議における「一般質問」(抜粋)

※並びは質問順

## 中山 裕司

やまなか ゆうじ 建設企業常任委員会所属

明石市は海だけでなく、北部に里山や農地、ため池など豊かな自然を有するも、都市化により緑地が減少し、生態系や風景が失われつつあります。人と自然が共生するまちづくりは環境だけでなく、防災・教育・経渃にも効果が期待できます。そこで、大久保北部の里山保全やグリーンインフラをどのように推進し、次世代に誇れる持続可能な明石を実現していくのかについて質問しました。そのほか、令和6年度決算について自主財源の確保や将来負担比率等についても市の見解を聞きました。



### 大久保北部の里山の自然環境の保全と活用について

(要旨)市民団体や学校と連携し、生物多様性保全と環境教育を両立させる取組を強化してはどうか。また、さらなる取組として大久保北部の里山の「自然共生サイト」認定を目指してはどうか。

(答弁要旨)市と共にネイチャーポジティブの実現を目指し関わる人材を増やすなど、機運の醸成を図っていきたい。「自然共生サイト」の認定を目指し、環境省に確認しながら検討していく。



グリーンインフラの取組

(要旨)雨庭や浸透樹、透水性樹脂舗装といったグリーンインフラを整備し、「雨をすぐに流す」のではなく、「街の中で一時的に受け止める」取組が必要ではないか。

(答弁要旨)地域の自然環境を守り、育む取組を進めている。今後も国が2023年に策定した「グリーンインフラ推進戦略2023」に沿って持続可能な社会の実現を目指す。

## 黒田 智子

くろだともこ 総務常任委員会所属

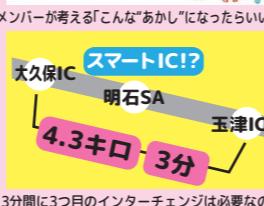
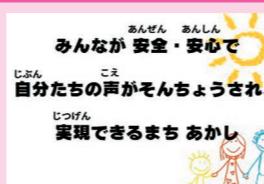
このタイミングで、きっちり提案・確認しておきたい3テーマについて取り上げました。①裏面に掲載の「こども夢応援プロジェクト」について ②市長が今とても力を入れている「こども・若者計画」について ③6月議会でも質問した「スマートインターチェンジ設置にNO！」の統編。特にスマートICについては、2階建ての家における2つ目の段階のようなもので“あると便利だけど、なくていい”“他にお金を使うべきだ”と訴えました。「こども夢応援プロジェクト」は補正予算議案が提出され、可決されました。



### 本市の「こども・若者計画」策定について

(要旨)手を挙げた一部のこども若者を中心進めているが、子ども若者の権利は、大人が責任をもって守るべきもの。「誰一人取り残さない」ためには、行政フォローは必須だが、どのように取り組むのか。

(答弁要旨)こどもの権利条約等、タイミングを見ながら情報提供していく。メンバーの声を具体化し計画策定まで伴走する。声を上げにくくこども若者の声は行政が聴き取り、反映させたい。



3分間に3つ目のインターチェンジは必要なのか

### 続・明石サービスエリアへのスマートIC設置にNO!

(要旨)玉津ICと大久保ICのわずか3分間の距離に3つのインターチェンジは不要だと考える。検討状況、地元への説明時期、経済効果、費用対効果、国へのエンタリーの判断基準について、どう考えているのか。

(答弁要旨)梅林保全ルート検討を委託した。結果が出来れば説明する。経済効果はどんな工事でも工事費の約1.5倍+利便性向上等の効果を見込むもの。様々な課題解消を見込んだ上で年度末エントリーを目指す。



## 上田 雅彦

うえだまさひこ 総務常任委員会所属

厚生労働省が推進する「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」(にも包括)について特に重点的に質問。これは高齢者をケアする「地域包括ケアシステム」だけではなく、精神に障害を持たれている方にも同じようにケアしようという仕組みのこと。本市における子育て政策と同じように「明石モデル」と呼ばれるようなケアシステムを推進していかないかと提案しました。

### 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを

(要旨)精神障害に加え、ひきこもりや依存症など多様なニーズに対応できる相談窓口を整備し、切れ目ない包括的支援体制を構築して、先進の「明石モデル」を目指さないか。

(答弁要旨)ピアサポートーともしっかりと連携。精神疾患の方々に寄り添った支援を続けていき、それが「明石モデル」と呼ばれるよう丁寧に対応していく。



DXで描く、明石の未来

### 2027年度完成の新庁舎におけるDX整備について

(要旨)東京都を参考に、完成までのロードマップの明確化と災害情報の即時伝達や可視化を。また職員数削減ではなく業務効率化のためのDXにすべきだと考えるが、今後の進め方や課題は。

(答弁要旨)DX整備は市民サービス向上において非常に重要。関係部署と連携しながら現在進行中。今後も他自治体の事例を参考に、新庁舎がDXの象徴となるようしっかりと進めていく。

## 金尾 良信

かなおよしのぶ 生活文化常任委員会所属

強度行動障害のある方の支援について、2023年6月と2024年9月に市の考え方や支援の方向性等について本会議で質問したが、依然として待ったなしの状況。特に市内における日中の活動場所が限られており、市立木の根学園を含めた強度行動障害のある人の地域生活を支える生活介護事業の現状と課題について質問しました。



住みなれた地域で安心して暮らせる障害者支援について  
強度行動障害者対応グループホームの設置と専門的支援のバックアップ体制について  
チームで統一した支援体制と24時間切れ目ない支援



### 強度行動障害のある人の日中活動の場について

(要旨)市立木の根学園は、古くから重度知的障害者(強度行動障害のある人を含む)の日中活動場所の役割を果たしているが、建物・設備が老朽化している。強度行動障害のある人の地域生活を支える生活介護事業の現状と課題、今後について市の見解は。

(答弁要旨)専門的スキルを有する職員確保が課題。受入できる市内事業所は限られ、木の根学園だけでも全体の3割以上。同園の役割含めて他市事例を参考にする。[市長より]実際に従事・活動されている方のお声も聞かせていただけます。

### 新庁舎整備中の仮設駐車場・バス停の安全確保について

(要旨)道路に臨時の安全標識、市役所通路に雨よけ等を設置できないか。特に乳幼児、高齢者、障害者等の移動が困難な方への配慮と安全確保について市の見解は。

(答弁要旨)仮設駐車場・バス停から本庁舎への移動距離短縮を優先し、応急的に日傘と簡易ベンチを設置している。横断歩道の設置は困難である認識だが、再度警察と協議することを考える。



## 中川 夏望

なかがわなつみ 文教厚生常任委員会所属

段ボールごみが増えた昨今、自治会や子ども会で回収される地域もあるが、そうでない地域は月に1度の古紙回収しかなく、回収BOXが近所にないケースも多い。ごみ減量の観点からも、古紙の回収頻度を増やす必要があるのではと問題提起。また全国的に上下水道管の老朽化による事故が相次いでいます。今後の財政状況が厳しいといわれる中、今後新たな施設やスマートICの整備が検討されているが、その余裕があるならば、老朽管の更新を優先すべきではと訴えました。

### ごみの回収について

(要旨)①古紙の回収を現在の月に1回から2回に増やすのか。②モバイルバッテリーや携帯扇風機などのリチウムイオン電池製品を回収しないか。

(答弁要旨)①現在100万円ほどの収入がある。月2回にすると数千万円の費用を想定。財政的な負担や人員面を考慮し慎重に検討する。②来年度中には月2回の定期収集の開始を検討している。

### 新規の公共施設をつくるより、老朽管の更新を優先しないか

(要旨)老朽管の更新は上下水道事業だけでもかなりの費用があるが、市民にとっては上下水道事業も一般会計も関係ない。新施設をつくる余裕があるなら一般会計で更新費用の一部を負担しないか。

(答弁要旨)一般会計の財政状況を考慮すると、上下水道事業への支援は厳しい状況にある。



## 山下 祥

やましたしょう 建設企業常任委員会所属(委員長)

5つの無料化をはじめとした「子育てしやすさ」が、将来的にどのまちでもあたりまえになっても、魅力あふれて選ばれ続ける明石市へ。子育て層以外も「明石市に住んでよかった」と思えるまちづくりを。今回は「新幹線駅の交通利便性向上」「不妊治療へのサポート」「神戸マラソンを起点とした大蔵海岸の魅力向上」にフォーカス。かねてよりポテンシャルの高さを訴えてきた大蔵海岸は、諮問委員会の設立という大きな動きが始まることになりました。

### JR西明石駅における深夜の新幹線下りと在来線上りの接続について

(要旨)東京⇒西明石直通「のぞみ号」が23時40分に西明石駅に到着するが、東方面の在来線は23時36分が最終。包括連携協定を結ぶ西日本旅客鉄道株式会社に接続改善を要望できないか。

(答弁要旨)深夜の新幹線到着がある西明石駅の利便性を明石・朝霧駅方面にも波及させるためには、接続されることが望ましい。電鉄会社との連絡会等を通じて在来線終電の繰り下げを要望していく。

### 一般不妊治療を含めた助成事業のモデル実施をしないか

(要旨)「子育て層」と「子を授かりづらい層」では、行政サービスの手厚さに大きな差が。不妊治療で悩む人も手を差し伸べてこそ、真の「こどもを核としたまちづくり」では。まず、年間5万円補助のモデル事業を。

(答弁要旨)[市長より]重要なテーマ。条例を制定している県の支援拡充もお願いしていきたい。市によって助成方法も多様。議員から具体的な提案をもらったため、それも含めて検討していきたい。



他市は続くと不妊治療助成が充実